

2026/2/15(日)

竜ヶ岳(山梨 100 名山)

メンバー:L 辻、福田、有賀(記録)、会員外 1

富士五湖の一つ本栖湖南側の湖畔から直ぐにそびえているのが、ダイヤモンド富士が見られることでよく知られている竜ヶ岳です。山の知識が乏しい私は、そういうばどこかで聞いたことがあったな位なもので、恥ずかしながら今回この山がそうであることを初めて知りました。来る途中の甲府盆地からは、富士山がかるうじて見える程度で視界はあまり良くなかったのですが、峠を越えて本栖湖湖畔に着くころにはモヤも晴れて視界は良好となりました。幹線道路から本栖湖の方に右折して最初の無料駐車場に車を留め、竜ヶ岳に向って歩き出しましたが、あちこちに駐車場があるのを見て、何だもっと近くに留められたんだなどと思っただけでした。

程なく登山口に着きましたが、平地からいきなりの急な上り坂でおととと。登り始めは足元がまだ凍っていましたが、だんだんと東斜面に朝陽が当たり出し、見る見るうちに溶け出しました。こりゃあ帰りはどうなっていることやらと心配が頭をよぎりました。



歩き始めから 1 時間半ほどで石仏見晴台に到着。真正面に富士山がドンと構えていて視界良好でしたが、まだ手前の斜面に陽が当たらず陰になっていたのでさながら黒富士。

再び頂上に向けて歩き出しましたが、あたり一面笹の原。竜ヶ岳は湖畔から見ると山頂が丸坊主のポテッとした山でした。すぐ目の前に頂上が見えているような錯覚に陥りますが、行っても行っても坊主頭が先へ先へと延びていきます。



それでもようやく山頂にたどり着くとそこには 360 度の景色が広がっていました。真っ白な南アルプスも良く見えています。陽も高くなって富士山の北斜面をしっかりと照らしています。天候は穏やかで、富士山の裾野から 5 合目あたりまでに薄

天気：快晴

07：10 本栖湖駐車場～
07：25 本栖湖キャンプ場～
07：35 石仏コース登山口～
08：45 石仏・見晴台～
10：00 竜ヶ岳 10：50 出～
11：30 石仏・見晴台～
12：40 本栖湖キャンプ場～
12：55 本栖湖駐車場



い雲がたなびいて、横一直線に境界がきれいに見え、まるで白い腰巻？をしているようでした。

山頂でそれぞれ持参した食料を頬張り、いざ下山。ピストンのコースですが、帰りは間違いなく凍っていた登山道は泥道であろうという事で皆の衆は揃ってチェーンスパイク装着。



▲隣の雨ヶ岳

▼南アルプス



予想通り下って行くと日当たりのよい登山道は泥道と化していました。終始富士山を眺めながらの下山は申し分無かったのですが、一度靴に付いた泥はぬぐってもなかなか落ちず、重い脚を引きずりながらの下山となりました。ようやくの体で下山し駐車場まで戻ってきてからが大変。チェーンスパイクを脱いで靴も履き替えた後、近くの水溜りや日陰に残った

雪で泥落としをしましたが、結構な時間を費やしました。もうこの時期にくるのは絶対になしだな、今度はダイヤモンド富士を見に来るのもいいかな、でもその時期は絶対に混むよな、などといろんなことに思いを馳せながら帰路に就いたのでした (記録 有賀)

【編集後記】

天気良く春山の様相。目の前にど〜んと富士山。午前中は逆光となって富士山がきれいに撮れないのが残念！予想外の速さで溶解した泥んこの登山道。スパッツ、チェンバ、靴、下山後の後始末が大変でした。竜ヶ岳は3度目ですがこんな泥状態の登山道は初めて。乾いていれば歩き安く、下山中はずっと絶景の富士山を見ながら歩ける良い山なのですが。

駐車場は使えるトイレ重視で決めたのですがリサーチが甘かったかな。

辻 記